



## 女子委員会

### 平成30年度 KYFA第36回九州女子サッカー選手権大会 (兼 皇后杯 JFA第40回全日本女子サッカー選手権大会九州地域予選) 実施要項

- 1. 主 旨** 九州サッカー協会は、九州地域における女子のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、中学1年生以上の登録選手を対象とした九州で最も権威のある単独チームの大会として実施する。
- 2. 名 称** KYFA第36回九州女子サッカー選手権大会  
(兼 皇后杯JFA第40回全日本女子サッカー選手権大会九州地域予選)
- 3. 主 催** 一般社団法人 九州サッカー協会
- 4. 主 管** 一般社団法人 長崎県サッカー協会
- 5. 後 援** 島原市、島原市教育委員会（予定）
- 6. 協 賛** (株)モルテン・名鉄観光サービス(株)
- 7. 日 程**

開催日： 2018年10月6日(土) <1回戦>  
10月7日(日) <2回戦>  
10月8日(月) <準決勝・決勝戦>

会 場：長崎県島原市平成町人工芝グラウンド  
長崎県島原市平成町1番地1

組合せ：九州サッカー協会女子委員会において抽選を行い決定済み。

監督会議：日時 2017年10月5日(金)：19時  
場所 長崎県島原市平成町人工芝グラウンド クラブハウス

開会式：実施しない。

#### 8. 参加資格

- (1) (公財)日本サッカー協会に「女子」の種別で登録した加盟登録チームであること。
- (2) 2006年(平成18年)4月1日以前に生まれた女子選手であり、2018年9月21日(金)までに(公財)日本サッカー協会に登録(追加登録も含む)されていること。小学生は出場できない。また、中学生以下の選手だけの大会参加申込は不可とする。
- (3) クラブ申請制度の適用：(公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームから移籍すること無く、上記(1)のチームで参加することができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。

なお、選手は、上記(2)を満たしていること。選手が所属するチームの種別・種別区分は問わ

ない。但し、本大会の予選を通して、選手は他のチームで参加(参加申込)していないこと。

(4) 外国籍選手：5名まで登録でき、1試合3名まで出場できる。

(5) 移籍選手：本大会の予選を通して、選手は他のチームで参加(参加申込)していないこと。

## 9. 参加チームとその数

参加チームは、次の各号により選出された16チームとする。

九州各県代表チーム（各県1代表）8チーム

第4回九州高等学校サッカー競技女子優勝1チーム

（本年度は、Q L 1位と重なったため2位が出場）

九州女子サッカーリーグ(Qリーグ)所属 7チーム

10. 大会形式 ノックアウト方式、三位決定戦は行わない。（全国大会に2チーム出場）

11. 競技規則 大会実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。

## 12. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

### (1) 競技のフィールド

フィールド表面は平坦で常緑な天然芝であり、ピッチサイズは原則105m×68mであること。

ただし、ロングパイル人工芝基準を満たした人工芝でも可である。

### (2) ボール

試合球はモルテン社製ボール『ヴァンタッジオ5000(ピンク)5号品番：F5V5000-P』とする。

### (3) 競技者の数

① 競技者の数：11名

② 交代要員の数：7名以内

③ 交代を行うことができる数：5名以内

④ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：3名以内

### (4) 役員の数

テクニカルエリアに入ることができる役員の数：6名以内

### (5) テクニカルエリア：設置する

### (6) 競技者の用具

#### ① ユニフォーム

- a. （公財）日本サッカー協会ユニフォーム規程（2016年4月1日施行）に基づいたユニホームを使用しなければならない。ただし、今回の規定で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。

第5条（ユニホームへの表示）＊該当のみ抜粋

・ GK グローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示

・ 両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両袖に表示できる製造メーカーロゴマークの幅（10cmから8cmに変更）

・ 同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離

- b. Jクラブ傘下のチームについては、公益財団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)の

ユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。また、(一社)日本女子サッカーリーグ加盟チーム又はその傘下のチームについては、一般社団法人日本女子サッカーリーグのユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。この際、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員用のカラーシャツを複数色、チームで準備出来る場合のみ使用を認められる。

- c. ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書(WEB登録)の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。(公財)日本サッカー協会に登録されたものを原則とする。
- d. シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- e. ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- f. ユニフォームへの広告表示については(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
- g. ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。

#### (7) 試合時間

- ① 試合時間は80分(前後半各40分)とする。  
ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで):原則10分間
- ② 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)
  - 1回戦・2回戦:PK方式により勝者を決定する。
  - 準決勝以降(三位決定戦を含む):20分(前・後半10分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝者を決定する。
  - 延長戦に入る前のインターバル:5分間
  - PK方式に入る前のインターバル:1分間
- ③ アディショナルタイムの表示:行う

(8) マッチコーディネーションミーティング:各試合競技開始時間の70分前に実施する

#### (9) その他

- ① 第4の審判員の任命:行う
- ② 負傷者の対応:主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される
- ③ ベンチ入りできる人数は最大13名(交代要員7名、役員6名)とする。
- ④ メンバー提出用紙:試合開始80分前までに本部に出場選手の登録選手証と共に提出する。  
(ユニフォームカラーは無記入)

### 13. 懲 罰

- (1) 本大会の県予選は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。
- (2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

- (3) 大会規律委員会の委員長は大会実施委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (6) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

#### 14. 大会参加申込

- (1) 選手の参加申込しは、30名までとする。参加申込みした最大30名の選手の中から、各試合メンバー用紙提出時に選手最大18名を選出する。(ポジションについては、GK、DF、MF、FWと記入し、ゲームキャプテンに○を付けること。)
- (2) 参加申込は所定の申込書に必要事項を入力、記入の上、期日までに下記申込先に送信、郵送する。また、プライバシーポリシー、懲罰処分アンケートも同様とする。

**※事務処理簡素化のため、参加申込書のデータファイル(Excel形式)を下記アドレスまで添付ファイルにて送ってください。(PP同意書・懲罰処分アンケートはPDFでの送信可)**

- (3) 申込締切日 平成30年9月21日(金) 必着
- (4) 申込先 【個人情報のため不掲載】
- (5) 必ず参加資格を確認の上、県サッカー協会会長印を捺印し原本を郵送すること。
- (6) 上記(3)の申込締切以降の申込書内容の変更は原則認めない。ただし役員の変更は可能とする。

#### 15. 参加料 35,000円(必ず口座振り込みとする。)

- (1) 期限日までに、下記振込先まで振込むこと。  
但し、手数料については、各チーム負担とする。  
期限日：平成30年9月21日(金)  
振込先：【不掲載】

#### 16. 選手証

**(公財)日本サッカー協会登録及び本大会に参加申込みを完了した選手のみが出場する権利を有する。**

各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により顔の認識ができるものであること。

\*選手証とは、(公財)日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

#### 17. 表彰

- (1) 優勝・準優勝チームに表彰状ならび楯を授与する。  
優勝チームには優勝杯を授与し、次回までこれを保持せしめる。
- (2) 3位に表彰状を授与する。
- (3) 表彰式は決勝戦終了後に試合会場にて行う。
- (4) 優勝、準優勝のチームは皇后杯JFA第40回全日本女子サッカー選手権大会への出場資

格と義務を得る。 2018年11月3日～全国各地

#### 18. 交通・宿泊

- (1) 交通費・宿泊費は全てチーム負担とする。
- (2) 宿泊等の斡旋をします。

名鉄観光サービス株式会社 095-824-1200

担当者 小川浩大

#### 19. 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。

大会会場において疾病・傷害が発生した場合、大会主催側は原則として応急処置のみを行うものとする。

#### 20. その他

- (1) 大会規律に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
- (2) 大会要項に規定されていない事項については本大会実施委員会において協議の上決定する。
- (3) 監督会議に遅刻または不参加の場合には本大会実施委員会において処分の対象となりうることもある。

#### 21. 付記

雷、台風等の自然災害時においては可能な限り限られた範囲内で最大限大会を実施する。実施不可能と判断された場合は大会本部と女子委員会において対応を決定する。対応策がない場合は抽選で決定する。その際、原則として大会参加料は返金しないものとする。